

急性胆嚢炎の治療のため当院にて腹腔鏡下胆嚢摘出術を受けられた患者さんへ

福岡東医療センター 外科では以下の研究を実施しています。

この研究は、過去の診療情報を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」と呼ばれる学術活動です。過去に実施された検査の結果等の診療情報等を利用しますので、患者さんに新たにご負担いただく検査や治療はありません。また、学術論文や学会で公表する場合も、個人情報の保護には十分配慮し、第三者には誰のものか一切わからないようにします。

患者さんにはご自身の診療情報が使用されることを拒否する権利があります。**本研究の対象に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に使用されることを希望されない場合は下記の問い合わせ先にご連絡ください。**既に学会や論文発表が行われている場合はデータを削除できない場合がありますのでご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、患者さんが診療上で不利益を被ることはありません。

【研究課題名】	高齢の急性胆嚢炎患者における非自宅退院となるリスク因子の検討
【研究実施期間】	2024年4月12日～2025年3月31日
【研究実施期間・研究責任者】	独立行政法人国立病院機構 福岡東医療センター 外科 研究責任者 小齊 侑希子
【対象となる方】	西暦2022年1月1日から2023年12月31日に外科にて急性胆嚢炎の診療のため入院し、手術(腹腔鏡下胆嚢摘出術)を受けた65歳以上(手術時)の方87名
【研究の意義、目的、方法】	急性胆嚢炎は、外科において緊急手術を要する疾患の一つですが、術前にお元気であった方の中でも一部の方は術後に著しい体力の低下をきたし、ご自宅へ退院することが困難となることがあります。本研究では、それぞれの患者さんの術前の血液検査の数値や筋肉量などからご自宅へ退院できる方とそうでない方の違いを示すものがないかを検討します。電子カルテ内の情報を用いて、統計学的に解析を行います。
【利用する試料・情報の種類】	急性胆嚢炎の診療に関する診療記録、臨床検査データ(血液)、診断用画像(腹部CT検査)
【個人情報の保護】	研究に際して個人が特定されないように、個人が特定できる情報は削除します。

【問い合わせ先】	独立行政法人 国立病院機構 福岡東医療センター 研究責任者： 外科 小齊 侑希子 住所：〒811-3195 福岡県古賀市千鳥 1-1-1 電話番号：092-943-2331（代表）
-----------------	---